



▲二宮三社縁起



▲大水上神社

おおみなかみじんじゃしよぞうぶん かざい 大水上神社所蔵文化財

－大水上神社古文書－

大水上神社は高瀬町羽方にあり、高松市円座の「讃岐一ノ宮」に続く「讃岐二ノ宮」として広くその名を知られています。境内を流れる川の清らかな水を囲むように緑が生い茂り、神聖な空気に包まれています。

古くから人々に厚く信仰され、源平合戦の時には源平両氏から戦勝祈願の願書が奉納されています。また、江戸時代には丸亀藩主である京極氏からも厚く崇敬されました。

平成23年度に大水上神社が所蔵する古文書の一部が市の有形文化財に指定されました。指定されたものは古文書211件269点で、元禄年間（1688年～1704年）から明治期にかけての神社運営などに関する文書群です。その一つの「二宮三社縁起」は、別名「二宮記録」とも称され、天正2年（1574年）頃に成立し、江戸時代中ごろに写されたものです。古代・中世の神社にかかわる

出来事が詳細に記されており、当時の讃岐および三豊地域を知るうえでの重要な資料です。

また「寺社書類」は、明治2年（1869年）から同末年までの神社の記録がつづられており、近代神社の変遷を知ることが出来る貴重な資料です。これらのほかにも、神社運営や祭礼、藩による神社政策など、当時の様子が詳しく記された古文書群も確認されています。

大水上神社には、今回指定を受けた古文書のほかにも、境内には国指定史跡の二ノ宮窯跡や、県指定有形文化財の石燈籠（康永四年（1345年）銘記）があります。

このように多くの文化財がある大水上神社で神聖な空気に包まれながら、ぜひ涼しげな水の音と三豊の歴史にふれてみてはいかがでしょうか。

＜生涯学習課＞

今月の市民力

たからだの里物産館で製造や販売をしているスタッフのみなさん。買い物客に好評の地元の果物や野菜を使った「手作りアイス」はメニューも豊富です。手作業によるいねいな下ごしらえから最高の手作りアイスの数々が誕生しています。5月からは風味豊かな手作りドーナツの販売も開始。これからもすてきな笑顔と地元の恵みを届けてください。

